

第6 資産カルテ（平成22年度決算）

1. 資産カルテの目的

県が管理する大規模な県有施設については、建設後の維持管理など今後の県財政への影響があることから、施設の状況や今後の大規模改修・修繕計画などについての確かな把握に努め、適正かつ効果的な維持管理を行っていくとともに、今後の維持管理や施設整備に対する県民の皆様の理解を得る観点から、施設に関する財務情報をわかりやすく提供していくことが重要と考えます。

このため、県議会からの提言も踏まえ、施設の適切な管理と県民の皆様への情報開示のため、大規模施設について「資産カルテ」を作成し、公表しています。

2. 対象施設の考え方

- (1) 施設の規模
県財政への影響の観点から、施設の規模が相当程度あること。
- (2) 県民の利用
県民への情報開示の観点から、広く県民に利用されている施設であること。
- (3) 利用料金の徴収
維持管理費と料金との関係を検証する観点から、利用料金を徴している施設であること。

3. 今年度における対象施設

上記の考え方にに基づき、今年度は、以下の施設の資産カルテを作成しましたので、次頁以下に掲載します。

- 三重県総合文化センター
複合文化施設（文化会館、県立図書館など）
- 三重県立美術館
- 三重県営サンアリーナ
コンベンション施設（メインアリーナ、サブアリーナなど）
- 三重県営鈴鹿スポーツガーデン
総合スポーツ施設（水泳場、庭球場など）
- 三重県営総合競技場
総合スポーツ施設（陸上競技場、体育館など）

4. 資産カルテの活用

県が管理する大規模施設について、長期にわたり計画的かつ効果的な維持管理を進めるとともに、施設に関する財務情報等をわかりやすく提供するため、この資産カルテを活用し、施設の運営管理の状況を多面的にチェックしていくことで、利用者の皆様に良質なサービスを提供し効率的な施設管理を行っていけるよう努めます。

資産カルテ【平成22年度決算】

施設名

三重県総合文化センター

建築年月日	平成6年6月竣工	供用開始日	平成6年10月	延床面積	46,305㎡	敷地面積	62,224㎡
建物構造、構成	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	財団法人三重県文化振興事業団(H23.7.1.～公益財団法人)				

	資産、支出		負債、財源		ライフサイクルコスト	
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C)	426億円	財源計	426億円	施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上	
	建物(A)	357億5千9百万円	(内訳)		減価償却費累計額①	
	1期(当初)	357億5千9百万円	国庫支出金	—	357億5千9百万円	
	2期		地方債	298億6千7百万円		
	用地(B)	27億5千3百万円	県費その他	127億3千3百万円		
	備品・その他(C)	40億8千8百万円	(地方債残高	2億20百万円)		
	過去の改修・修繕費	19億5千1百万円			改修・修繕費累計額②	
今後の整備	大規模改修等計画(予定)				・これまで 19億5千1百万円	
	・平成23年度 立体駐車場建築	8億円			・今後 71億5千8百万円	
	・平成26年度 建築設備・建築物	5億円			計 91億9百万円	
	・平成46年度 建築設備・建築物	5億円			人件費累計額③	
	修繕計画(予定)		71億5千8百万円		・これまで 81億9百万円	
	・舞台修繕(23～27)	11億6千1百万円			・今後 155億7千3百万円	
	・舞台設備(28～55)	22億5千万円			計 236億8千2百万円	
	・建築設備(23～55)	19億4千7百万円			管理費累計額④	
					・これまで 90億円	
					・今後 177億7千6百万円	
					計 267億7千6百万円	
					利子累計額⑤	
					・これまで 95億30百万円	
					・今後 1億37百万円	
					計 96億67百万円	
					ライフサイクルコスト計	
					①～⑤ 計	
					1,049億9千5百万円	

運営費(単年度)	支出額(決算額)		収入額(決算額)	
	H22	H21	H22	H21
人件費	501,253	503,661 千円	料金収入	167,590 162,501 千円
管理費	483,544	484,354 千円	事業収入等	174,933 152,350 千円
修繕費	420,975	138,788 千円	県費負担額	1,547,007 1,247,714 千円
事業費	479,212	417,079 千円		
元利償還金	4,546	18,683 千円		
計	1,889,530	1,562,565 千円	計	1,889,530 1,562,565 千円
		……………A		

成果指標(実績は22年度)	
目標値①	施設利用率 年間73%
実績	78.0%
目標値②	
実績	

県民1人当たり運営費(H22)	
A÷C H22	1,019 円 C… (H22推計人口) 1,854,742 人(H22.10.1)
[A÷D H21	839 円 D… (H21推計人口) 1,862,575 人(H21.10.1)]

利用者数	
・当初予定利用者数	
年間65万人(図書館除く)	
・実績(平成22年度)	
710,649 人(図書館除く)	
338,632 人(図書館)	
計	1,049,281 人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費(H22)	
A÷B H22	1,801 円
[H21	1,388 円]

資産カルテ【平成22年度決算】

施設名

三重県総合文化センター

建築年月日	平成6年6月竣工	供用開始日	平成6年10月	延床面積	46,305㎡	敷地面積	62,224㎡
建物構造、構成	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	財団法人三重県文化振興事業団				

※H23.7.1～公益財団法人三重県文化振興事業団

	資産、支出		負債、財源		ライフサイクルコスト	
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C)	426億円	財源計	426億円	施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上	
	建物(A)	357億5千9百万円	(内訳)		減価償却費累計額①	
	1期(当初)	357億5千9百万円	国庫支出金	—	357億5千9百万円	
	2期		地方債	298億6千7百万円		
	用地(B)	27億5千3百万円	県費その他	127億3千3百万円		
	備品・その他(C)	40億8千8百万円	(地方債残高	22億1百万円)		
	過去の改修・修繕費	19億5千1百万円	※借換債を含む			
今後の整備	大規模改修等計画(予定)		} 71億5千8百万円		改修・修繕費累計額②	
	・平成23年度 立体駐車場建築	8億円			・これまで 19億5千1百万円	
	・平成26年度 建築設備・建築物	5億円			・今後 71億5千8百万円	
	・平成46年度 建築設備・建築物	5億円			計 91億9百万円	
修繕計画(予定)				人件費累計額③		
・舞台修繕(23～27)	11億6千1百万円			・これまで 81億9百万円		
・舞台設備(28～55)	22億5千万円			・今後 155億7千3百万円		
・建築設備(23～55)	19億4千7百万円			計 236億8千2百万円		
運営費(単年度)	支出額(決算額)	H22	H21	収入額(決算額)	H22	H21
	人件費	501,253	503,661 千円	料金収入	167,590	162,501 千円
	管理費	483,544	484,354 千円	事業収入等	174,933	152,350 千円
	修繕費	420,975	138,788 千円	県費負担額	1,587,917	1,274,655 千円
	事業費	479,212	417,079 千円			
	元利償還金	45,456	45,624 千円			
	計	1,930,440	1,589,506 千円	計	1,930,440	1,589,506 千円
		……………A				
					管理費累計額④	
					・これまで 90億円	
					・今後 177億7千6百万円	
					計 267億7千6百万円	
					利子累計額⑤	
					・これまで 95億3千0百万円	
					・今後 1億3千7百万円	
					計 96億6千8百万円	
					ライフサイクルコスト計	
					①～⑤ 計	
					1,049億9千4百万円	

成果指標(実績は22年度)	
目標値①	施設利用率 年間73%
実績	78.0%
目標値②	
実績	

県民1人当たり運営費(H22)	
A÷C H22	1,041 円 C… (H22推計人口) 1,854,742 人(H22.10.1)
[A÷D H21	853 円 D… (H21推計人口) 1,862,575 人(H21.10.1)]

利用者数	
・当初予定利用者数	
年間65万人(図書館除く)	
・実績(平成22年度)	
710,649 人(図書館除く)	
338,632 人(図書館)	
計	1,049,281 人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費(H22)	
A÷B H22	1,840 円
[H21	1,388 円]

管理運営方針(基本的考え方、料金改訂等)

- ・県民の誰もが文化芸術を享受でき、文化活動に参加・参画できる環境づくりを進める。
- ・運営の中で積み上げてきた事例や蓄積された幅広いノウハウ、成果を県内の市町や県民に情報発信し、新しい地域社会を創造する原動力となる「文化力」を高めていく。
- ・行政機関、民間団体、NPO、ボランティア等との連携を強化し、多様な学習機会、交流の場、発表の場を提供する。
- ・文化芸術、生涯学習、男女共同参画活動の拠点施設として、情報提供、交流、人材育成、活動支援等の専門性を発揮する。

料金体系

【営利】

・大ホール 平日午前	入場料1,000円以下	61,160円
・中ホール 平日午前	入場料1,000円以下	30,580円
・大会議室 午前		17,120円
		など

【非営利】

・大ホール 平日午前	入場料1,000円以下	40,770円
・中ホール 平日午前	入場料1,000円以下	20,380円
・大会議室 午前		8,560円
		など

施設の耐震化状況

建物構造物は、S56建築基準法改正後建築であるため、耐震基準を満たしている。
吊天井については、H20に大ホール・中ホール、多目的ホール、H23にレパジョンホール等の耐震改修工事を実施し終了予定。

施設のバリアフリー化状況

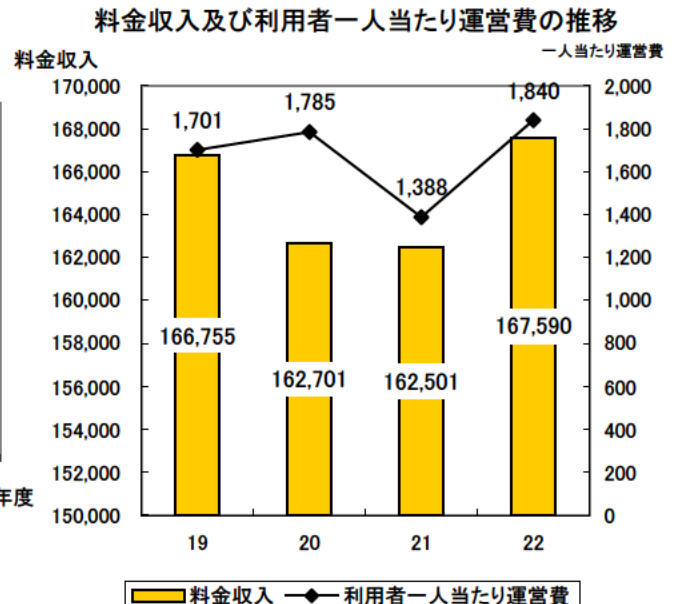
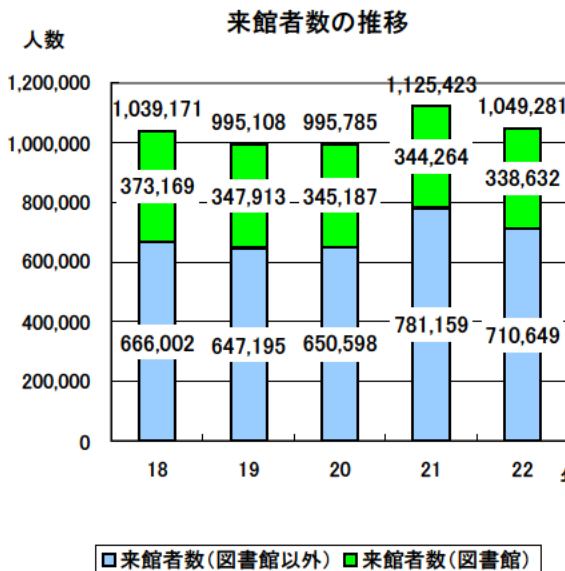
平成12年度にバリアフリー工事を実施済。(約1.2億円)(スロープ改修・階段手摺設置・点字ブロック設置・トイレ改修・車椅子用駐車場整備他)

これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

経営の効率化、柔軟な事業展開を行うとともに、機動性・弾力性の高さを活かして各種サービスの改善に取り組んできた結果、H21年度は過去最高の利用率となり、平成22年度も高い利用率を維持している。
複合施設としてのメリットを活かし、県の文化芸術、生涯学習、男女共同参画の進展に大きく寄与するべく、引き続き、蓄積されたネットワークやノウハウを発揮して効率的な運営を行っていく。

成果指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
施設利用率(%)	73.7	73.8	75.2	79.7	78.0



資産カルテ【平成22年度決算】

施設名

三重県立美術館

建築年月日	昭和57年3月	供用開始日	昭和57年9月	延床面積	10,666㎡	用地面積	24,403.80㎡
建物構造、構成	鉄筋コンクリート(一部鉄骨鉄筋コンクリート)造地上2階一部地下1階建						
施設運営形態	直営		指定管理者名	-			

	資産、支出		負債、財源		ライフサイクルコスト		
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C)	86億3千3百万円	財源計	86億3千3百万円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上</div> 減価償却費累計額① 45億8千2百万円		
	建物(A) 総工事費	45億8千2百万円	(内訳)				
	当初	27億8千2百万円	国庫支出金		改修・修繕費累計額②		
	増改築	18億円	地方債				
	用地(B)	総合教育センター敷地	県費その他	86億3千3百万円	・これまで 3億7千2百万円 ・今後 6億6千4百万円 計 10億3千6百万円		
	備品・その他(C)	40億5千1百万円	(地方債残高	10億3千6百万円)			
	過去の改修・修繕費	3億7千2百万円			人件費累計額③ ・これまで 34億2百万円 ・今後 24億6千3百万円 計 58億6千5百万円		
今後の整備	大規模改修計画(予定)		} 6億64百万円				
	平成27~31年度	8千6百万円					
	修繕計画(予定)						
	平成23~26年度	2億3千0百万円					
	施設設備				管理費累計額④ ・これまで 39億3千6百万円 ・今後 28億5千0百万円 計 67億8千6百万円		
平成32~43年度	3億4千8百万円						
	施設設備				利子累計額⑤ ・これまで 6億7千3百万円 ・今後 5千0百万円 計 7億2千3百万円		
運営費(単年度)		支出額(決算額)	H22	H21	収入額(決算額)	H22	H21
		人件費	117,008	123,252 千円	料金収入	23,560	25,463 千円
		管理費	134,590	132,933 千円	事業収入等	0	0 千円
		修繕費	10,098	29,442 千円	県費負担額	308,803	337,471 千円
		事業費	62,857	73,043 千円	雑収入	8,766	7,999 千円
		元利償還金	16,576	16,576 千円	国庫支出金	0	4,313 千円
		計	341,129	375,246 千円	計	341,129	375,246 千円
		A				
						ライフサイクルコスト計	
						①~⑤ 計	
						189億9千2百万円	

成果指標(実績は22年度)	
目標値①	入館者数 10万人
実績	121,582人
目標値②	講演会・ギャラリートークの開催 7回
実績	14回

利用者数
・当初予定入館者数
10万人
・実績(平成22年度)目標①
121,582人
計
121,582人 B
(参考) 利用者1人当たり運営費(H22)
A÷B H22 2,806 円
(H21 2,347 円)

県民1人当たり運営費(H22)	
A÷C H22	184 円 C··(H22推計人口) 1,854,742 人(H22.10.1)
[A÷D H21	201 円 D··(H21推計人口) 1,862,575 人(H21.10.1)]

管理運営方針(基本的考え方、料金改訂等)

・明治期以降の日本近代洋画を中心に、現代の生きた動きを物語る作品、日本の作家たちに影響を与えた海外の作品、近世以後の三重県にゆかりの深い美術家の作品などを収集する。
 ・資料収集、調査研究、展示、教育普及など美術館の基本的な機能を重視し、独自の企画展のほか、多彩な展覧会を開催する。
 ・生涯学習活動として、移動美術館、美術セミナー及び各種講座、子どもの体験型ワークショップの実施など地域社会へサービスの充実を図る。
 ・美術館活動の活性化と支援のため、美術館ボランティア「樺の会」、公益財団法人三重県立美術館協力会、三重県立美術館友の会、公益財団法人岡田文化財団との協力体制を整備し、それぞれ美術館と連携しながら積極的な活動を展開する。

料金体系

県立美術館

常設展 一般 300円
 高校生・大学生 200円
 企画展は、その都度設定

施設の耐震化状況

平成20年度につり天井改修済み
 柳原義達記念館の彫刻作品の免震装置は、設置済み
 その他の彫刻作品、工芸作品の免震装置は、なし

施設のバリアフリー化状況

展示スペースのバリアフリー化は、ほぼ終了している。

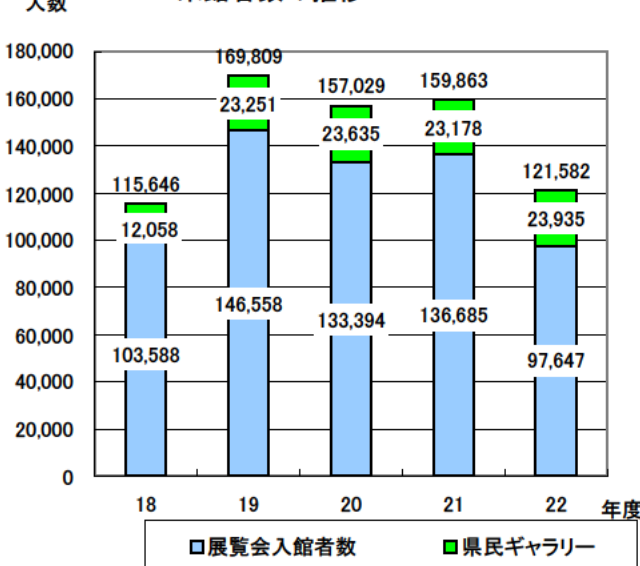
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

限られた経営資源で質の高い企画展を維持しながら、よりきめの細かいサービスを提供していく必要がある。
 また、美術館活動の支援団体である美術館ボランティア「樺の会」、公益財団法人三重県立美術館協力会、三重県立美術館友の会、公益財団法人岡田文化財団等と連携しながら積極的な活動を展開する。

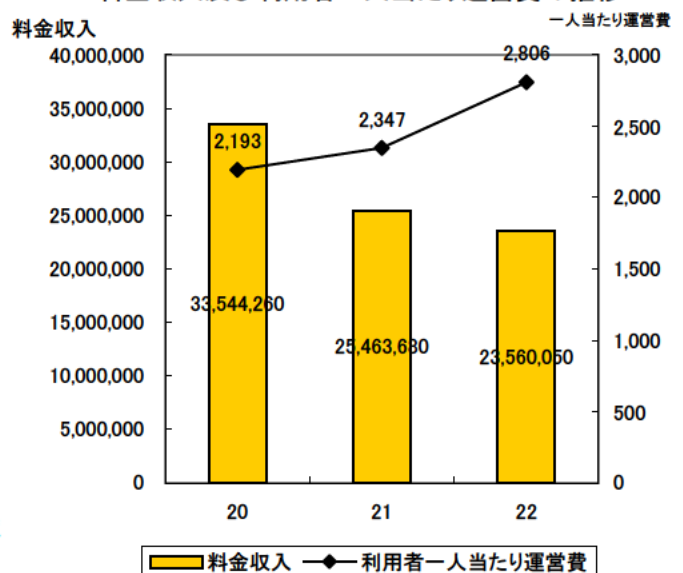
成果指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
展覧会入館者数	103,588	146,558	133,394	136,685	97,647
県民ギャラリー	12,058	23,251	23,635	23,178	23,935

来館者数の推移



料金収入及び利用者一人当たり運営費の推移



資産カルテ【平成21年度決算～記載例～】施設名

〇〇〇〇〇

建築年月日	平成〇年〇月竣工	供用開始日	平成〇年〇月	延床面積	〇〇㎡	用地面積	〇〇㎡
建物構造、構成	〇〇〇〇						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	〇〇〇〇				

	資産、支出	負債、財源	ライフサイクルコスト
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C) 426億円	財源計 426億円	施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上
	建物(A) 357億5千9百万円	(内訳)	減価償却費累計額①
	1期(当初) 357億5千9百万円	国庫支出金 —	→357億5千9百万円
	2期	地方債 298億6千7百万円	
	用地(B) 27億5千3百万円	県費その他 127億3千3百万円	
	備品・その他(C) 40億8千8百万円	(地方債残高 3千2百万円)	
	過去の改修・修繕費 13億9千2百万円	地方債残高は、予算調整室で記入します(各部で入力は不要です)	改修・修繕費累計額②
今後の整備	大規模改修計画(予定)	52億5千6百万円	・これまで →13億9千2百万円
	・平成26年度(〇〇〇〇〇) 5億円		・今後 →52億5千6百万円
	・平成46年度(〇〇〇〇〇) 5億円		計 66億4千8百万円
	修繕計画(予定)		人件費累計額③
・舞台設備(21~25) 4億3千1百万円		・これまで 71億4千6百万円	
・舞台設備(26~55) 22億5千万円		・今後 165億7千7百万円	
・建築設備(21~55) 15億7千5百万円		計 237億2千3百万円	
			管理費累計額④
			・これまで 80億3千3百万円
			・今後 187億4千3百万円
			計 267億7千6百万円
			利子累計額⑤
			・これまで 92億7千5百万円
			・今後 1百万円
			計 92億7千6百万円

運営費(単年度)	支出額(決算額)		収入額(決算額)	
	H20	H21	H20	H21
人件費	492,130	千円	料金収入	162,701 千円
管理費	506,888	千円	事業収入等	180,189 千円
修繕費	346,881	千円	県費負担額	1,434,316 0千円
事業費	413,514	千円		
元利償還金	17,793			
計	1,777,206	0千円	計	1,777,206 0千円

元利償還金は、予算調整室で記入します(各部で入力は不要です)

……………A

コスト計	1,021億8千2百万円
------	--------------

今後の利子は、予算調整室で記入します(各部で入力は不要です)

成果指標(実績は21年度)	
目標値①	
実績	
目標値②	
実績	
目標値③	
実績	
目標値④	
実績	
目標値⑤	
実績	

利用者数
・当初予定利用者数
年間65万人(図書館除く)
・実績(平成21年度)
人
人
計 0人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費(H21)
A ÷ B H21 #DIV/0! 円
(H20 円)

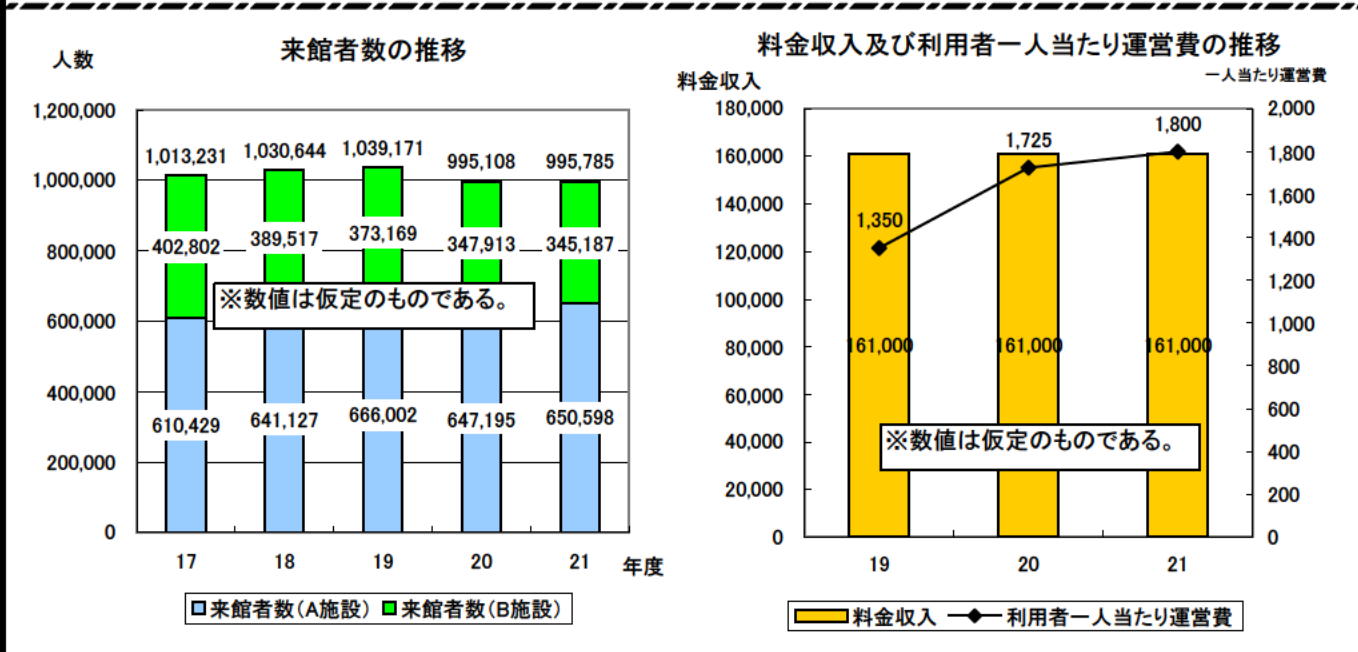
管理運営方針(基本的考え方、料金改訂等)

料金体系

施設の耐震化状況	施設のバリアフリー化状況

これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

成果指標の推移	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度



資産カルテ【平成22年度決算】

施設名

三重県営サンアリーナ

建築年月日	平成6年5月竣工	供用開始日	平成7年1月4日	延床面積	24,312㎡	敷地面積	28,645㎡
建物構造、構成	鉄筋コンクリート造及び鉄筋造3階建						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	株式会社 スコルチャ三重				

	資産、支出	負債、財源	ライフサイクルコスト
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C) 174億2千4百万円	財源計 174億2千4百万円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上</div> 減価償却費累計額① 160億1千4百万円
	建物(A) 1期(当初) 160億1千4百万円 2期 用地(B) 伊勢市からの無償貸与 備品・その他(C) 14億1千万円	(内訳) 国庫支出金 地方債 140億2千万円 県費その他 34億4百万円 (地方債残高 32億7千万円) ※借換債を含む	
	過去の改修・修繕費 8億5千万円		改修・修繕費累計額② ・これまで 8億5千万円 ・今後 35億3千4百万円 計 43億8千4百万円
今後の整備	大規模改修計画(予定) ・平成23~24年度 2億6千4百万円 ・平成25年度 1億6百万円 ・平成26年度 1億6千4百万円 ・平成27年度 1億1百万円 修繕計画(予定) 躯体・付帯設備(H28~H56) 29億円	} 35億3千4百万円	人件費累計額③ ・これまで 16億9千3百万円 ・今後 28億9千6百万円 計 45億8千9百万円
			管理費累計額④ ・これまで 36億2千4百万円 ・今後 62億2千3百万円 計 98億4千7百万円

運営費(単年度)	支出額(決算額)			収入額(決算額)		
	H22	H21		H22	H21	
人件費	88,901	84,560 千円	料金収入	83,029	118,775 千円	
管理費	177,331	186,024 千円	事業収入等	19,169	18,437 千円	
修繕費	124,362	127,092 千円	国庫負担額	0	64,080 千円	
事業費	23,937	36,365 千円	県費負担額	402,560	343,513 千円	
元利償還金	90,227	110,764 千円				
計	504,758	544,805 千円	計	504,758	544,805 千円	
A					

利子累計額⑤	
・これまで	45億4千6百万円
・今後	2億3百万円
計	47億4千9百万円

ライフサイクルコスト計	
①~⑤ 計	395億8千万円

成果指標(実績は22年度)		
目標値①	メインアリーナ平均稼働率	65.0 %
実績		60.5 %
目標値②	サブアリーナ平均稼働率	75.0 %
実績		63.4 %
目標値③	会議室等平均稼働率	45.0 %
実績		17.5 %
目標値④	サンアリーナ利用人数合計	400,000 人
実績		259,473 人

県民1人当たり運営費(H22)		
A÷C H22	272 円	C... (H22推計人口) 1,854,742 人(H22.10.1)
【A÷D H21	293 円	D... (H21推計人口) 1,862,575 人(H21.10.1)】

利用者数	
・当初予定利用者数	
年間	40.0 万人
・実績(平成22年度)	
	259,473 人
計	259,473 人 B
(参考) 利用者1人当たり運営費(H22)	
A÷B H22	1,945 円
【 H21	1,506 円 】

管理運営方針(基本的考え方、料金改訂等)

- ・“であいと交流”のステージを提供します。
- ・新たな“であい”によって文化を育み、“交流”を通じて人々に活力を与えます。
- ・多目的機能を備えた大規模複合施設である特性を活かし、様々な催しを実施し、地域との豊かなコミュニケーションに寄与します。
- ・特色のある文化活動や国際交流、スポーツの普及振興に取り組み、魅力ある三重県に貢献します。
- ・様々な活動を通じて、経済を活性化し、地域振興に寄与します。

料金体系

メインアリーナ【全部利用】

アマチュアスポーツ等 平日 8,200～126,000 円/1H
 土・日・祝 9,800～150,000 円/1H
 音楽・プロスポーツ興行
 平日 84,000～126,000 円/1H
 土・日・祝 100,000～150,000 円/1H

サブアリーナ【全部利用】

アマチュアスポーツ等 平日 1,600～30,000 円/1H
 土・日・祝 2,000～36,000 円/1H
 音楽・プロスポーツ興行
 平日 20,000～30,000 円/1H
 土・日・祝 25,000～36,000 円/1H

施設の耐震化状況

H18～19 天井耐震改修工事実施

施設のバリアフリー化状況

H13 身障者用駐車場及び屋外通路設置工事

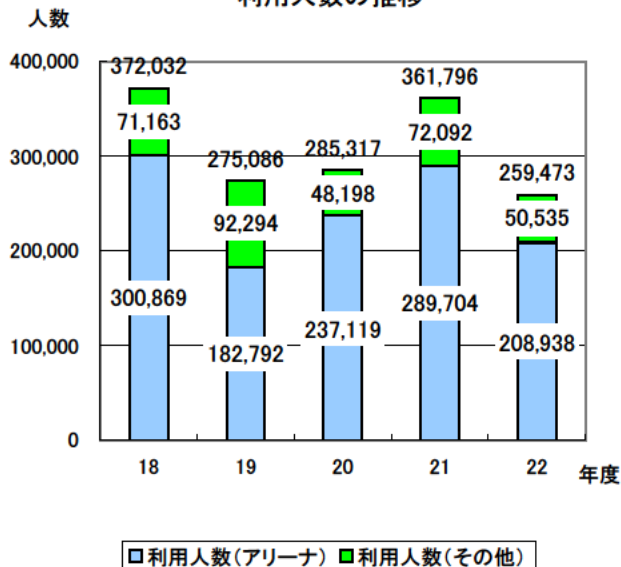
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

地域団体とのコラボレーションに努め、地域と連携した多彩なイベント等を実現し、新たな分野での利用拡大につなげている。また、地域や企業を対象とした体力・健康づくりやコミュニティの活性化に向けた自主事業の取組により、地域の文化・健康づくりや地域経済に貢献している。運営コスト面では、受電先を特定規模電気事業者へ切り替え、電力料金の節減効果を実現するなど、経費節減に努めている。今後は、老朽化が進む施設・設備について、修繕工事により利用促進への支障をきたすことのないよう運営面での配慮を要する。

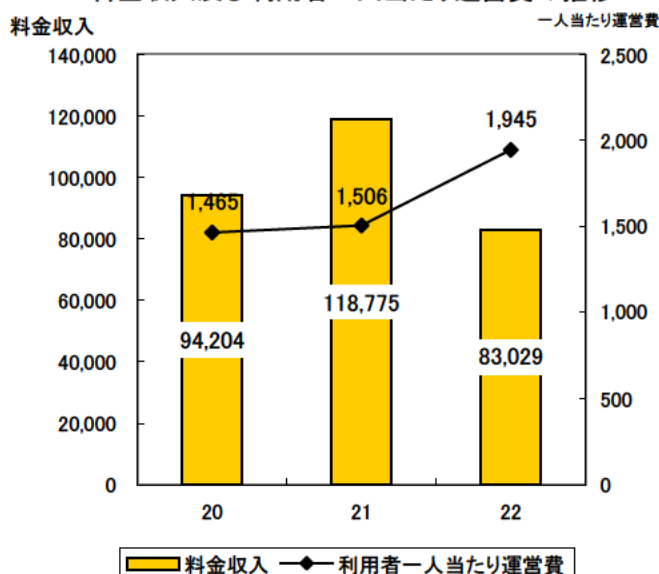
成果指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
利用人数	372,032	275,086	285,317	361,796	259,473
平均稼働率(メインアリーナ)	52.6%	55.0%	56.6%	61.4%	60.5%

利用人数の推移



料金収入及び利用者一人当たり運営費の推移



H22収支決算の推移
【収入】

建物使用料、
ベンチ広告等

	スコルチャ	三重県	合計
施設利用料金収入	82,563,466	465,629	83,029,095
自主事業収入	19,168,766		19,168,766
指定管理料	195,000,000	(195,000,000)	195,000,000
県費負担額		121,090,311	121,090,311
国庫支出金			0
合計	296,732,232	121,555,940	418,288,172

⇒

【収入額】	
料金収入	83,029,095
事業収入	19,168,766
県費負担額	316,090,311
国庫支出金	0
合計	418,288,172

【支出】

	スコルチャ	三重県	合計
売上原価	4,153,350		4,153,350
人件費	79,739,000	148,500	79,887,500
法定福利費	8,000,535		8,000,535
福利厚生費、教育費	1,161,405		1,161,405
委託費	94,235,520	119,502,810	213,738,330
うち環境整備事業		(119,502,810)	0
指定管理料	0	(195,000,000)	0
広告宣伝費	2,800,306		2,800,306
会議費、交際費	505,415		505,415
報償費	0		0
旅費	311,460	35,690	347,150
通信費	1,085,713	500,000	1,585,713
販売促進費	1,466,667		1,466,667
消耗品費	1,340,115	520,000	1,860,115
印刷製本費	0		0
修繕費	4,805,135	54,049	4,859,184
水光熱費	58,571,794		58,571,794
新聞図書費	103,570		103,570
諸会費	457,800		457,800
車両費	346,763		346,763
賃借料	2,471,172	214,100	2,685,272
保険料	740,040	577,341	1,317,381
租税公課	564,850		564,850
支払手数料	1,933,890		1,933,890
減価償却費	2,165,687		2,165,687
雑費	576,346	3,450	579,796
自主事業経費	23,936,656		23,936,656
システム保守費	1,502,004		1,502,004
合計	292,975,193	121,555,940	414,531,133

⇒

【支出額】	
人件費	88,900,940
管理費	177,331,543
修繕費	124,361,994
事業費	23,936,656
元利償還金	
合計	414,531,133

営業利益	3,757,039
税引前当期純利益	5,576,737
当期純利益	1,079,724

【参考】

	H20	H21	H22	3カ年平均
人件費	82,091,096	84,559,934	88,900,940	85,184,000
管理費	185,741,622	186,024,718	177,331,543	183,033,000
修繕費	121,478,966	127,092,030	124,361,994	124,311,000
事業費	23,480,241	36,364,848	23,936,656	27,927,000
元利償還金				
合計	412,791,925	434,041,530	414,531,133	420,455,000

資産カルテ【平成22年度決算】

施設名

三重県宮鈴鹿スポーツガーデン

建築年月日	平成4年8月	供用開始日	平成4年10月	延床面積	34,269.76㎡	敷地面積	391,000㎡
建物構造、構成	鉄骨造、鉄筋コンクリート造						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	三重県体育協会グループ				

	資産、支出	負債、財源	ライフサイクルコスト
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C) 188億6千8百万円 建物(A) 121億4千3百万円 1期 14億5百万円 2期 92億5千4百万円 3期 14億8千4百万円 用地(B) 21億5千2百万円 備品・その他(C) 45億7千3百万円 過去の改修・修繕費 5億6千万円	財源計 188億6千8百万円 (内訳) 国庫支出金 地方債 130億5千万円 県費その他 58億1千8百万円 (地方債残高 11億7千8百万円) ※借換債を含む	施設の耐用年数を50年とし、 50年間の総コストを計上 減価償却費累計額① 121億4千3百万円 改修・修繕費累計額② ・これまで 5億6千万円 ・今後 111億円 計 116億6千万円
	今後の整備 大規模改修計画(～H54予定) ・サッカーラグビー場(芝改修) 6億円 ・水泳場(外壁等) 10億円 ・体育館庭球場(人工芝等更新) 9億円 修繕計画(～H54予定) ・サッカーラグビー場機器 5億円 ・水泳場機器 60億円 ・体育館庭球場機器 21億円	} 111億円	管理費累計額③※ ・これまで 57億3千2百万円 ・今後 105億4千万円 計 162億7千2百万円 利子累計額④ ・これまで 29億5千7百万円 ・今後 7千0百万円 計 30億2千8百万円 ※管理費累計額には人件費 累計額を含む。

運営費(単年度)	支出額(決算額)			収入額(決算額)		
	H22	H21		H22	H21	
人件費	64,857	65,137	千円	料金収入	102,700	97,526 千円
管理費	366,706	362,610	千円	事業収入等	42,337	29,352 千円
修繕費等	54,506	163,225	千円	県費負担額	427,703	552,472 千円
事業費	44,003	26,589	千円			
元利償還金	42,668	61,789	千円			
計	572,740	679,350	千円	計	572,740	679,350 千円
	……………A					

ライフサイクルコスト計	
①～⑤ 計	431億2百万円

成果指標(実績は22年度)			
目標値①	利用者数(合計)	目標値	366,000人
実績		実績	480,636人
目標値②	大会数	目標値	300回
実績		実績	400回

利用者数	
・当初予定利用者数	年間36.6万人
・実績(平成22年度)	480,636人
計	480,636人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費(H21)	
A÷B H22	1,192円
【 H21	1,548円】

県民1人当たり運営費(H22)			
A÷C H22	309円	C… (H22推計人口)	1,854,742人(H22.10.1)
【 A÷D H21	365円	D… (H21推計人口)	1,862,575人(H21.10.1)

管理運営方針(基本的考え方、料金改訂等)

- ・生涯スポーツ振興と競技力向上の拠点となる総合的スポーツ施設としての機能を十分発揮するよう、管理運営を行う。
- ・競技環境の質の維持及び安全性の向上に努める。
- ・効果的かつ効率的な管理運営を行う。
- ・利用者の視点に立った管理運営を行う。

料金体系

水泳場 メインプール・サブプール・トレーニングルーム 一般 450円/回	サッカーラグビー場 メイングラウンド 一般 3,500円/時間 第1,2,4グラウンド 一般 1,800円/時間 第3グラウンド 一般 1,500円/時間
庭球場 屋外コート 一般 600円/面・時間 シェルターコート 一般 800円/面・時間 センターコート 一般 1,200円/面・時間	体育館(全部使用) 平日料金 2,300円/時間 日・祝日料金 2,900円/時間 トレーニングルーム 一般 140円/時間 ※全てアマチュアによる入場料を徴収しない場合

施設の耐震化状況

建物構造物は、すべてS56. 6. 1建築基準法改正法施行後建築のため、耐震対策済。

施設のバリアフリー化状況

身障者用(多目的)トイレ、身障者(車いす)用観覧席、エレベーターの設置済み

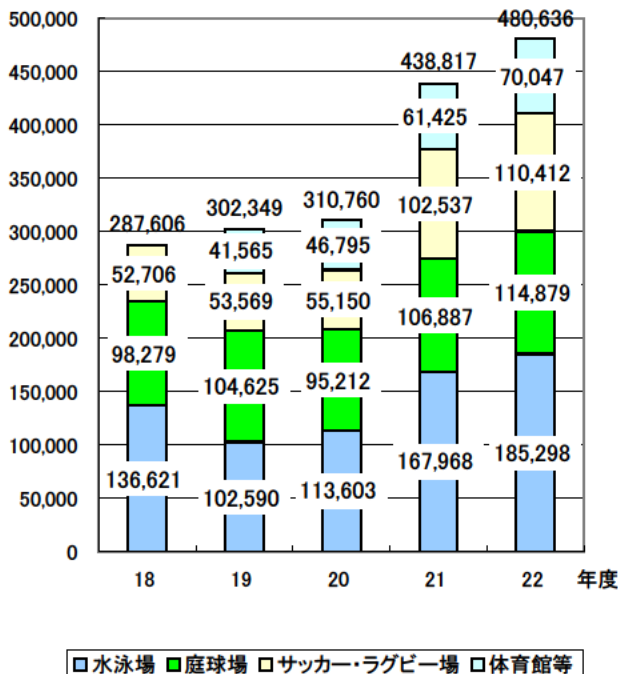
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

- ・競技団体等との利用調整、利用許可や料金收受、施設の維持管理及び修繕等に関する業務を適切に実施している。また、利用規定について、利用者の要望に対応できるようにできる限り改定を行っており、より利用しやすい施設の提供に努めている。
- ・休業日の縮小及び営業時間の延長を行っており、利用者サービス及び利便性の向上に努めている。
- ・利用者サービスのさらなる向上に向けた取組を継続していく必要がある。
- ・施設の老朽化対策に予算を確保し、安全・快適な利用環境を維持していく必要がある。

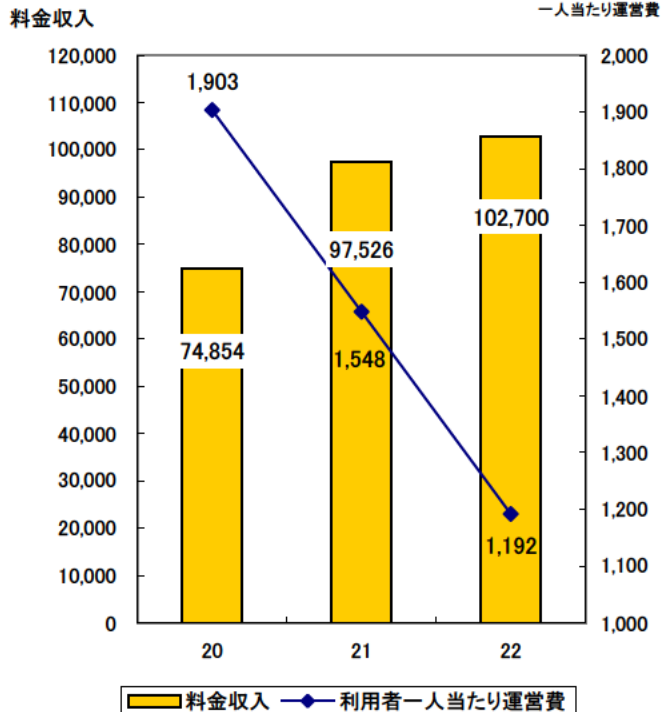
成果指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
利用者数(合計)	287,606	302,349	310,760	438,817	480,636
大会数	361	354	352	376	400

人数 利用者数の推移



料金収入及び利用者一人当たり運営費の推移



資産カルテ【平成22年度決算】

施設名

三重県営総合競技場

建築年月日	昭和39年3月	供用開始日	昭和39年4月	延床面積	10,530㎡	用地面積	85,628㎡
建物構造、構成	鉄骨造、鉄筋コンクリート造						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	三重県体育協会グループ				

	資産、支出		負債、財源		ライフサイクルコスト	
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C)	15 億円	財源計	15億円 億円	施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上	
	建物(A)	12億7千7 百万円	(内訳)	15億6千0 百万円		
	1期	2億1千0 百万円	国庫支出金	百万円	減価償却費累計額①	12億7千7 百万円
	2期	2億8千0 百万円	地方債	百万円		
	3期	2億6千2 百万円	県費その他	15億6千0 百万円		
	4期	5億2千5 百万円				
	用地(B)	0 百万円				
	備品・その他(C)	2億8千3 百万円	(地方債残高	1億94 百万円)		
	過去の改修・修繕費	25億2千3 百万円			改修・修繕費累計額②	
今後の整備	大規模改修計画(～H27予定)		}	21億8千2 百万円	・これまで	25億2千3 百万円
	・陸上競技場	14億9千4 百万円			・今後	21億8千2 百万円
	・体育館本館・別館	5億4千7 百万円			計	47億5 百万円
	・トレーニングセンター	8千0 百万円			人件費累計額③	
	・陸上競技場	4 百万円			・これまで	7億4千6 百万円
	・体育館本館・別館	5億7 百万円			・今後	1億9千4 百万円
	・トレーニングセンター	0 百万円			計	9億4千0 百万円
				管理費累計額④		
				・これまで	14億5 百万円	
				・今後	3億1千3 百万円	
				計	17億1千8 百万円	
				利子累計額⑤		
				・これまで	2億8千2 百万円	
				・今後	1千3 百万円	
				計	2億9千5 百万円	
				ライフサイクルコスト計		
				①～⑤ 計	89億35 百万円	

運営費(単年度)	支出額(決算額)		収入額(決算額)	
	H22	H21	H22	H21
人件費	36,784	36,973 千円	料金収入	25,237 24,562 千円
管理費	51,887	50,909 千円	事業収入等	10,687 10,188 千円
修繕費等	1,691	104,584 千円	県費負担額	131,652 234,432 千円
事業費	6,370	6,636 千円		
元利償還金	70,844	70,080 千円		
計	167,576	269,182 千円	計	167,576 269,182 千円
		……………A		

成果指標(実績は22年度)			
目標値①	利用者数	目標値	222,500人
実績		実績	300,918人
目標値②	大会数	目標値	200回
実績		実績	264回
県民1人当たり運営費(H22)			
A÷C H22	90 円	C… (H22推計人口)	1,854,742 人(H22.10.1)
[A÷D H21	145 円	D… (H21推計人口)	1,862,575 人(H21.10.1)]

利用者数	
・当初予定利用者数	年間22.25万人
・実績(平成22年度)	300,918 人
計	300,918 人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費(H22)	
A÷B H22	557 円
(H21	929 円)

管理運営方針(基本的考え方、料金改訂等)

- ・生涯スポーツ振興と競技力向上の拠点となる総合的スポーツ施設としての機能を十分発揮するよう、管理運営を行う。
- ・競技環境の質の維持及び安全性の向上に努める。
- ・効果的かつ効率的な管理運営を行う。
- ・利用者の視点に立った管理運営を行う。

料金体系

<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場 全部使用の場合（平日）2,000円/時間（日曜、祝日）2,500円/時間 ・補助競技場 全部使用の場合（平日）800円/時間（日曜、祝日）1,000円/時間 ・体育館本館 全部使用の場合（平日）2,100円/時間（日曜、祝日）2,700円/時間 ・体育館別館 全部使用の場合（平日）1,000円/時間（日曜、祝日）1,400円/時間 	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングセンター 高校生以下 60円/時間　その他の者 120円/時間 ※全てアマチュアによる入場料を徴収しない場合
--	--

施設の耐震化状況

H19.3に実施した耐震診断の結果、全施設耐震性能があると判定された。
体育館本館の吊天井は、H21.7に耐震改修を完了した。

施設のバリアフリー化状況

身障者用(多目的)トイレの設置済み

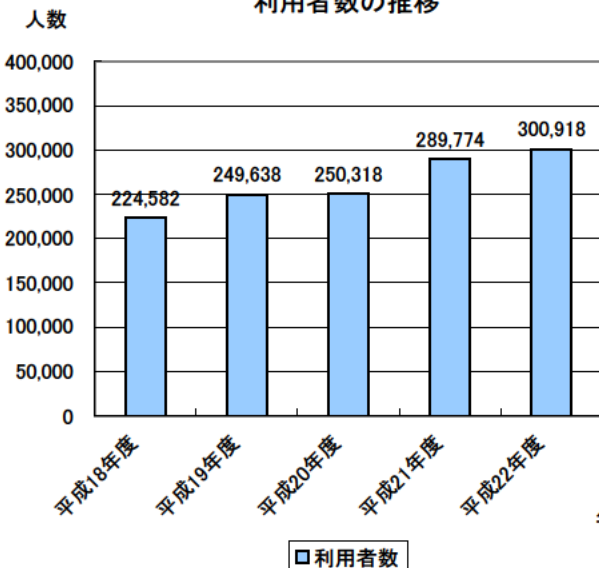
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

- ・競技団体等との利用調整、利用許可や料金收受、施設の維持管理及び修繕等に関する業務を適切に実施している。また、利用規定について、利用者の要望に対応できる限り改定を行っており、より利用しやすい施設の提供に努めている。
- ・休業日の縮小及び営業時間の延長を行っており、利用者サービス及び利便性の向上に努めている。
- ・利用者サービスのさらなる向上に向けた取組を継続していく必要がある。
- ・施設の老朽化対策に予算を確保し、安全・快適な利用環境を維持していく必要がある。

成果指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
利用者数	224,582	249,638	250,318	289,774	300,918
大会数				242	264

利用者数の推移



料金収入及び利用者一人当たり運営費の推移

